

# 組織活動の方向と目的

社会の状態によって、組織活動の方向と目的が変化し、方法が確定される。



「自由」「平等」「平和」「発展」「安全」は社会が成立する原則であり、人の活動の前提である。但し、正統と正当での意味は違っている。正統性は、地域、文化によって違い、組織活動の範囲が影響される。地域社会の正統性についての理解が必然になる。

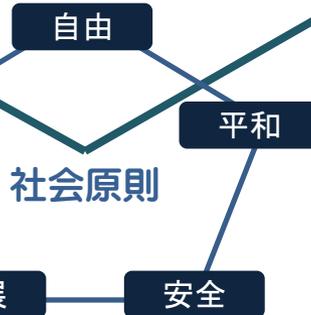
時代によって、科学進歩によって、5つの意味が変化する。

正統は正当へと進んでいくはずである。

コンピュータの出現、IT技術の進化によって、情報と知識流通に、ボーダーレスが起こった。情報と知識の流通は、距離と時間をゼロに近づけた。

人、モノ、カネの移動が自由になり、文化を始めとして、意識が混合し、進歩のスピードが速くなっている。意味、価値観の変化が起こり易くなっている。

組織活動は、社会の変化に適応していかなければ、組織の継続が困難になる。



組織活動は、社会原則を前提にして、下記の4つの役割が存在する。

組織活動の是非、組織活動が及ぼす社会への革新が、正統の意味を変える。

